

東林館高等学校 通信教育実施計画

科目名(単位数)		国語表現(3)			
対象年次		期別	必要面接時数	レポート数	
原則2年次		通年	3	10	
科目の概要	必修科目で培った能力を基盤として、他者とコミュニケーションする力を育成する科目である。				
科目の目標	国語で適切に表現し的確に理解する能力を育成し、伝え合う力を高めるとともに、思考力や想像力を伸ばし心情を豊かにし、言語感覚を磨き、言語文化に対する関心を深め、国語を尊重してその向上を図る態度を育てる。				
年間学習計画・学習のねらい	学習内容	到達目標	スクーリング回	レポート回	試験範囲
	表現の基礎	・人類の歴史の中で、文字や文章が誕生してきた過程を理解する。 ・文章を書く意味について考える。 ・文章の基本的な書き方を理解する。	1	1	前期
	表現の基礎	・自分の考えを言葉にすることの重要性について理解する。 ・日常会話における「聞くこと」の効用について考える。 ・意味のわかりにくい文について、なぜわかりにくくなっているのかを理解し修正する。 ・表現技法とその表現効果について理解する。		2	
	表現の基礎	・描写の意義と方法について理解する。 ・風景や人物、出来事を描写する文章を書く。		3	
	表現の実践(一) 表現の実践(二)	・手紙の価値と必要性、形式を理解する。 ・手紙の形式をふまえ、実用的な手紙を書く。 ・記録文やレポートの特徴と、基本的な書き方を理解する。	2	4	後期
	表現の実践(一) 表現の実践(四)	・コピーについて理解し、自由に発想し想像したことを、コピーの形で書く。 ・紹介文・宣伝文の必要性を理解する。 ・自分自身について分析し、自己認識を深める。 ・課題作文・小論文の書き方を理解する。		5	
	表現の実践(三)	・考えの発表のしかたを理解する。 ・話し合いの手順を理解する。 ・論理的な思考力や討論する力・説得する力・聞く力を身につけることの必要性を理解する。 ・ディベートの形式と手順を理解する。	3	6	
	表現の実践(四)	・自分自身について分析し、自己認識を深める。 ・課題作文の構成を考え、自己アピールとなる文章を書く。		7	
	表現の実践(四)	・小論文の書き方を理解し、実際に小論文を書く。		8	
	表現の探究	・日本語の、文法・語彙・音節・文字の特徴を理解する。 ・方言と共通語の特徴を理解する。・方言のよさを理解し、方言と共通語を適切に使い分ける態度を養う。	3	9	
	表現の探究	・正しい敬語について理解する。 助詞の違いで意味が変化することについて、日本語の文法の特徴を理解するとともに、助詞の違いにこめられたニュアンスの違いを理解する。		10	
評価方法	年度末の成績評価は下記の通り行う。 レポート:50% スクーリング:15% 試験:35% レポート:教科書や学習書を活用し、取り組むこと。 スクーリング:年間計画に従い、各自で予習・復習に取り組むこと。 試験の得点:追試験の得点は、定期試験の得点と同等には扱わない。				
単位の修得	①レポート:締め切りまでに所定のレポートを提出し、合格すること。 ②スクーリング:年間3時間出席すること。 ③試験:前期試験、後期試験を受けること。				
使用教科書等	高等学校 改訂版 国語表現(第一学習社)				
学習上の留意点	スクーリングの進行にあわせて復習をし、レポートに取り組みましょう。				